

4月

一般

段級

奥の細道
ゆづりと旅の疲れを取つてくみなんじ」と書く。どんな本がこの筆者
間やつてきて、私たちのよだれを滲ませる筆を贈つてねる。どうやら
とまやかとを注視して下さい。

打解^{うちけ}て休み給へと云^い。いかなる仏の濁世^{どろよきせ}塵土^{ちじゆ}
に示現^{しげん}して、かかる桑門^{そうもん}の大乞食順礼^{だいごしょくじゅんれい}。
じとさゝの
人をたすけ給ふにやと、あるじのなす事に



書道總研